

どんぐり山行通信 シラケ山

第63号

2011年5月21日(土)
晴れ
参加者 23名

しらけやま(1274m)



今回も南らんぼうさん
お勧めのシラケ山。山
や沢の名前は妙なの
が多い。地元の猟師や樵
が仲間で言い合った愛
称がそのまま地名にな



ったのだろう。初夏の天狗岩登山口から鉄橋を渡って沢沿い
に登り新緑を仰ぎ見る。半袖1枚で十分だ。避難小屋あたり

りでニンソウの群生地をのルートをとる。斜面には小ぶりの白い花が沢山咲いている。途中には黄色いヤマ



ブキソウ、紫色のヒイラギソ
ウの花がむかえてくれる。1
時間くらいで天狗岩の展望台
に到着する、360度の俯瞰だ
が妙義が見えるくらいで浅間、
谷川、荒船は霞んではっきりしない。冬だったら素晴らしい眺め



だろう。展望台をUターンしてシラケ山に向かう。標識のない石灰岩のピ
ークに到着、これがシラケ山。クライマックスの郡界尾根をアップダウン
し、スリリングなヤセ尾根をやり過ごす。ロープにつかまると汗が滴り落
ちる。もうちょっと足が長ければ楽に登り降りできるだろうに。遠くにマル、
鳥帽子がようやくみえる。行く道は困難だ。星2つだけはある。よう
やく鳥帽子直下の広場につく。すると斥候が素早く山頂の様子を探ってきて
狭いとの情報をもたらす。忍者のように神出鬼没だ、オジンだけだ。こ
こでゆったりと弁当にありつく。いつものようにお食事スポンサーの近く
に陣取って赤カブの酢漬けや柚子シャーベットをいただく。直登の鳥帽子
頂上は狭く石祠が鎮座している。ここで折り返してマルを迂回し、横道コ
ースをたどる。今度は歩き易い道でピンクのトウゴクミツバツツジのトン
ネルを歩む。花の名前にはなんとも確信が持てなくて?マークだらけだ。天狗岩の反対のルートをとると途
中の分岐で有志がおこもり岩に向かう。岩のなかには祠がある。ちょっとだけこもったけれど悟りは啓けな
かった。残ったメンバーは破れ傘、ミズなど山菜をとる。2時半ころ登山口に戻る。今日は1日いい汗をか



いた。
(伴記)

